

恭賀新年

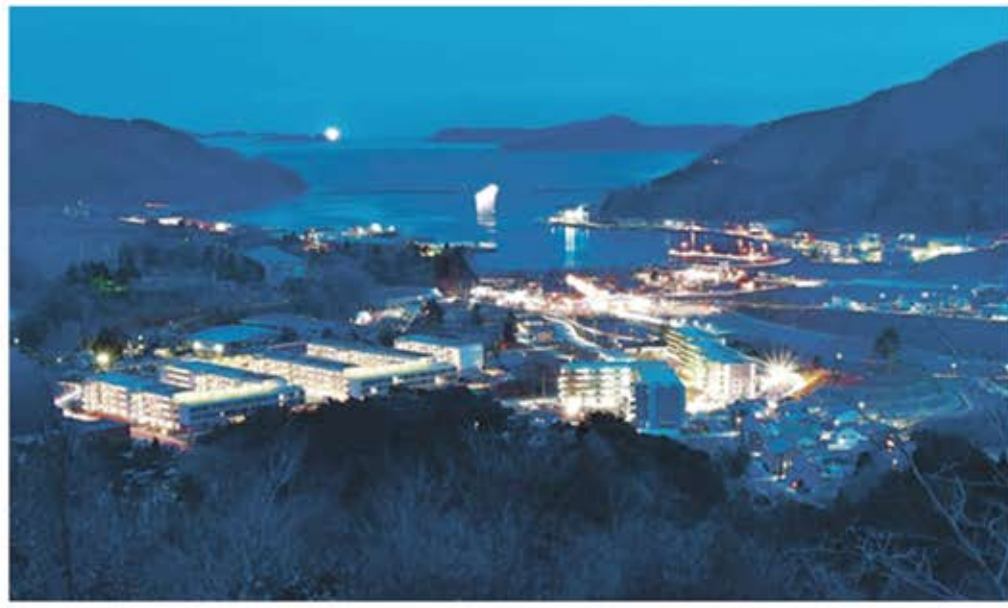
we support ↓
RQ
災害教育
センター

MONTHLY

「東北に黒糖を送ろうー大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけさきた』
かめぼん しんぶん

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

JANUARY
11
2017



薄暮の街に灯がともる。手前の造成地に集合型の災害公営住宅や一戸建て住宅が並ぶ。
あの日、膨れ上がった海は暗く静まり、行き交う船が光跡を描く=2016年12月31日、宮城県女川町(河北新報)

福島 大熊町でただ1人不明の女児 遺骨の一部見つかる



画像：NHK NEWS WEB (2016年12月25日)

父親の木村紀夫さんによりまずと、今月9日、町内の熊川地区の海岸で行われていた復旧工事の現場で、汐風ちゃんが当時身につけていたマフラーと一緒に首やあごの骨の一部が見つかり、その後のDNA鑑定で本人の遺骨と確認された。今月の22日に警察から伝えられたということです。

木村さんは、震災のあと5年9ヶ月にわたって原発事故で

2016年12月25日 NHK NEWS WEB
福島県大熊町で東日本大震災の津波に巻き込まれ、町内でただ一人、行方がわかっていなかった当時7歳の女の子の遺骨の一部が見つかり、警察のDNA鑑定で本人と確認されたことが、女の子の父親への取材でわかりました。
東京電力福島第一原子力発電所が立地する福島県大熊町に住んでいた当時小学一年生で7歳だった木村汐風(ゆうな)ちゃんは震災の津波に巻き込まれ、町でただ一人行方が分からないままになっていました。
父親の木村紀夫さんによりまずと、今月9日、町内の熊川地区の海岸で行われていた復旧工事の現場で、汐風ちゃんが当時身につけていたマフラーと一緒に首やあごの骨の一部が見つかり、その後のDNA鑑定で本人の遺骨と確認された。今月の22日に警察から伝えられたということです。



木村汐風さん(木村紀夫さん提供)
朝日新聞DIGITAL(2016年12月25日)

町内の避難区域に指定された海沿いをたびたび訪れ、汐風ちゃんを探し続けていました。木村さんは「汐風と特定されてよかったです。しかし、まだ遺骨の一部しか見つかっていないので、これからも探し続けたい」と話していました。
福島県内で、震災の犠牲者の身元が特定されたのはおよそ11ヶ月ぶりです。これで行方不明者の数は一人減って196人になります。